

## 令和4年度第2回市川市消防委員会会議録

日時：令和5年1月31日（火）  
10時00分～10時55分  
場所：市川市消防局 5階ホール

長谷川主幹（司会） 本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。  
定刻となりましたので、始めさせていただきます。  
会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。  
最初に、市川市消防委員会次第、市川市消防委員会委員名簿、市川市消防委員会資料、最後に、席次表となっております。  
資料に過不足等はありませんでしょうか。  
それでは、ただいまから、令和4年度第2回市川市消防委員会を開会いたします。

（消防総務課長） 消防職員起立・敬礼・直れ・着席

本日のご出席は、上條消防委員長以下13名でございます。  
なお、半数以上の委員にご出席いただいておりますので、市川市消防委員会条例第6条第2項の規定により、本会議は成立いたします。  
はじめに、上條委員長からご挨拶をお願いいたします。

上條委員長 皆さん、おはようございます。  
今日は、令和4年度第2回の消防委員会に、月末の大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。  
今日の開催にあたりましては、コロナウイルスが蔓延しており、少し心配をしていたのですが、最近は落ち着いた様子で安心しております。  
また、今日は、後程報告事項にございますが、今年の秋に、千葉県消防学校で開催された、全国消防操法大会で、市川の第6分団が準優勝に輝いたということでございます。コロナウイルスの蔓延で暗いムードが2、3年続いておりましたが、久方ぶりに、明るい話題に接し、消防関係に協力している一人として、非常に嬉しく思った次第でございます。

上條委員長 今日はお手元にあります資料の通り、いろいろ報告事項等がございまして、よろしくお願いたします。

長谷川主幹（司会） ありがとうございます。  
続きまして、本住消防局長からご挨拶を申し上げます。

本住消防局長 皆さんおはようございます。  
委員の皆様には、月末の大変お忙しい中、令和4年度第2回市川市消防委員会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。  
また、日頃より上條委員長様をはじめ、各委員の皆様には、市川消防に対しまして、多大なご支援、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。  
さて、新型コロナウイルス感染症の件ですが、新しいウイルスが確認されて、はや3年が過ぎようとしております。  
本市の感染状況につきましても、これまでに11万人を超える市民の方が感染をするということになってしまいました。  
このコロナ禍という長期にわたる制限の中ではございますが、これまでに経験のない社会生活を余儀なくされる状況にありましたが、現在は少しずつ日常を取り戻しつつ、というようなことになって参りました。  
消防局としましては、令和2年2月に初めて新型コロナウイルス感染症の患者さんを救急搬送いたしまして、これまでに1,900人以上の方を救急搬送しております。  
現在、首都圏における感染状況については、減少傾向が見られておりますが、とはいえ、まだその数字から見ると、安心できる数字ではないというふうに思っております。  
引き続き、感染防止対策の徹底を図って、救急体制の強化に取り組んで参ります。  
また、近年各地で発生しております、台風や豪雨災害などの自然災害に対しても、婦人消防クラブの皆様、消防団の皆様、そして、消防職員が一丸となって、しっかりと連携を取り、市民の安全、そして災害の軽減を図って参りたいと考えております。関係機関の皆様との協力体制についても、さらに強固なものにしていかなければならない、このように考えております。  
引き続き、消防体制の強化を図り、市川市の「安全・安心」

本住消防局長

の向上に努めて参りますので、委員の皆様には、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げまして、簡単ではございますが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

なお、本日は次第にあります通り、議題が1件、報告が3件、その他1件となっておりますので、ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

長谷川主幹（司会）

ありがとうございました。

それではここで、委員の皆様をご紹介させていただきます。はじめに、先ほどご挨拶をいただきました、

委員長で、

市川市消防協力会副会長

上條 憲司 様

次に、副委員長で、

京葉瓦斯株式会社 供給保安部長の

加藤 宏 様

次に、市川市議会議員の

竹内 清海 様

同じく、市議会議員の

加藤 武央 様

同じく、市議会議員の

堀越 優 様

同じく、市議会議員の

越川 雅史 様

同じく、市議会議員の

やなぎ美智子様

千葉県企業局 市川水道事務所長の

大野木 英司様

行徳警察署長の

大丸 範雄 様

東京電力パワーグリッド株式会社

京葉支社長の

濱山 満 様

E N E O S 株式会社市川油槽所長の

阿波 竜太 様

市川市消防団長の

安達 博 様

市川市婦人消防クラブ会長の

安藤 千枝 様

以上でございます。

なお、

株式会社NTT東日本-南関東

千葉事業部千葉西支店長の

松木 裕人 様

市川警察署長の

斎藤 誠 様

におかれましては、欠席のご連絡をいただいております。

続きまして、本日出席しております。消防職員につきましては、お手元の席次表をご確認くださいようお願いいたします。

それでは、審議に入りたいと存じますが、市川市の各種審議会につきましては、「市川市審議会等の会議の公開に関する

長谷川主幹（司会） る指針」に基づき、原則公開することとなっております。  
本委員会につきましても、この指針を適用することとして  
よろしいでしょうか。

（異議なしの声）

全員賛成でありますので、会議公開の指針を適用すること  
とさせていただきます。

なお、本日の委員会につきましても、傍聴希望の方はいら  
っしゃいません。

それでは、議題審議に入りたいと存じます。

市川市消防委員会条例第6条第1項の規定に基づき、委員  
長に議長をお願いしたいと存じます。上條委員長、よろしく  
お願いいたします。

上條議長

はい、それでは暫時議長を務めさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

本日は、新型コロナウイルスの感染対策の一環といたしま  
して、短時間で終了できますよう、皆様の円滑な議事進行に、  
ご協力をお願いいたします。

早速ですが、会議次第に従いまして、順次、進めさせてい  
ただきます。

なお、事務局からの説明の後、質問がありましたら、それ  
に答えていただくことにしたいと思いますので、よろしくお  
願いいたします。

はじめに、「令和5年度市川市消防局の主な施策（案）に  
ついて」議題といたします。

事務局からご説明をお願いいたします。

角田消防局次長

はい、議長。消防局次長の角田です。

それでは、「令和5年度市川市消防局の主な施策（案）に  
ついて」ご説明いたします。

恐れ入ります、資料の1ページをお願いいたします。

はじめに、消防施設整備の推進でございます。

消防庁舎等の施設は、消防活動上重要な消防防災拠点施設  
としての機能を有しており、消防業務の遂行に支障を来す  
ことなく、その機能や設備を、継続的に維持管理する必要が  
あることから、消防施設の整備計画に基づき、整備改修を行

角田消防局次長

うこととしております。

また、行徳地区の消防防災機能の充実強化を図るための事業計画も進めて参ります。

令和5年度の主な内容としましては、消防局東消防署合同庁舎ホース乾燥塔改修工事、西消防署浴室改修工事を予定しております。

次に、消防車両等の整備の推進でございます。

消防車両等の更新計画に基づき、高規格救急自動車2台、連絡車1台、合計3台の更新を予定しております。

次に、消防指令業務共同運用の推進でございます。

平成25年4月に、市川市、松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市の6消防本部で共同運用を開始した消防指令センターは、令和3年2月から、新たに習志野市、柏市、八千代市、我孫子市の4消防本部を加え、10市による「ちば北西部消防指令センター」として運用を開始し、2年が経過いたします。

引き続き、さらなる市民サービスの向上を目指し、共同指令センターとの連携及び消防指令業務の充実を図ります。

次に、消防団及び婦人消防クラブの充実強化でございます。

令和5年1月1日現在、消防団員は330名、婦人消防クラブ員は、269名となっており、いずれも自然災害や大規模災害時に、地域住民からの期待にこたえられるよう、知識と技術の習得にあたり、地域に密着した活動を行い、地域防災力の推進を図ります。

続きまして、資料の2ページをお願いいたします。

火災予防対策の推進でございます。

市民への防火思想の普及啓発を図るため、消防訓練や防火管理講習会の開催時、また、「広報いちかわ」や、「こちら119」、市川市公式ウェブサイトなどの広報媒体を利用し、火災予防に関する広報活動を実施して参ります。

さらに、春季、秋季全国火災予防運動期間中に、イベント等を開催するなど、積極的に火災予防対策の推進を図って参ります。

次に、訓練、研修の充実でございます。

近年、災害は多種多様化、激甚化、頻発化しており、また、近い将来には、首都直下地震や南海トラフ地震など大規模地震の切迫性も懸念されているところであります。

そこで、市民の安全安心を守るため、各種訓練の充実を図

角田消防局次長

り、研修や講習会等への職員の参加を積極的に推進し、職員の能力向上を図ります。

次に、救急需要対策の強化でございます。

令和4年の救急出動件数は、過去最多を記録し、救急需要は増加の一途を辿っております。

救急車の適正利用を推進するため、市民がためらわずに救急車を要請すべき事項の普及と、救急車を呼ぶかの判断に迷ったときのための、救急電話相談や、緊急度判定アプリ等の利用を積極的に広報し、救急需要対策の強化を図って参ります。

次に、救急業務高度化の推進でございます。

医師による救急救命士の特定行為に対する指示体制と、救急隊員に対する指導、助言体制、医学的観点からの救急活動に対する事後検証体制及び、救急救命士の教育研修体制の充実強化を推進し、救急隊の資質及び専門的知識、技術の向上を図って参ります。

次に、応急手当普及啓発業務の推進でございます。

突然の心肺停止には、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が応急手当を行うことにより、救命効果が期待できます。

幅広い年齢層の市民に、応急手当の知識と技能が普及するよう、体験型の応急手当の普及啓発活動を積極的に推進するとともに、ウェブ講習会など、市民の生活スタイルに応じた講習会の開催を推進して参ります。

次に、消防救助体制の充実強化でございます。

多種多様化する災害に対応するため、警防隊、救助隊及び救急隊が連携した消防救助技術、能力の向上を図るとともに、災害用ドローンを効果的に活用し、総合的な消防救助体制の充実強化を推進します。

続きまして、資料の3ページをお願いいたします。

その他の推進事業としまして、住宅用火災警報器の設置並びに維持管理の普及啓発の推進でございます。

住宅用火災警報器は、設置から10年が経過すると電池切れや電子部品の寿命により、火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換が必要となります。住宅用火災警報器の交換時期を含めた設置、維持管理について継続的に広報活動を実施いたします。

また、例年、全国的に住宅火災による高齢者の死者の割合

角田消防局次長

が高いことから、各種イベント、消防訓練、市公式ウェブサイト等を活用して、住宅用火災警報器の有効性についても、情報発信し、警報器の設置率の向上、維持管理を図って参ります。

次に、防火防犯対策の推進でございます。

消防職員、消防団員及び婦人消防クラブ員が、自治会等と連携し、防火防犯パトロールを実施して参ります。

また、毎年、火災の出火原因の上位には放火が挙げられます。放火火災を防ぐためには、地域全体で「放火されない、させない環境づくり」に取り組むことが重要です。家の周りに燃えやすい物を置かない、ごみ出しのルールを徹底する等、具体的な対策を行うよう、広く市民に啓発をして参ります。

次に、消防応援、協力体制の強化でございます。

首都直下地震や、大型化している台風、局地的豪雨、土砂災害等、複雑多様化する災害に備え、千葉県消防相互応援協定に基づく訓練や、緊急消防援助隊の訓練に積極的に参加し、広域応援体制の強化を図ります。

最後に、安全衛生管理体制の充実と健康管理体制の推進でございます。

各消防施設の環境整備を図ることに加え、災害活動や訓練時の安全管理、及び登退庁時における事故防止を徹底するとともに、職員の体力向上と、精神的ストレスがたまらない職場づくりに努め、心と体の健康バランスの充実を推進するとともに、職場におけるハラスメントを防止するため、職員の意識のさらなる向上を図ります。

以上でございます。

上條議長

はい、ありがとうございました。

ただいま、事務局からご説明がございましたが、この件に関しまして何かご質問がございましたら、よろしくお願ひいたします。

越川委員

はい。

越川です。何点か伺います。

スローガンの的には、お話のあった通りだと思うのですが、例えば高規格救急車を2台購入すると、今までと何が違うのかとか、住宅用火災警報器の設置率の向上、維持管理を図っていくといっても、何%ぐらいが適正で、今現在何%ぐらい

越川委員

で、今年度は、どこまで持っていくのかとか、そういう事が全然わからないと、スローガンだけ分かって、来年また説明を聞こうが、また何回説明を聞こうが、何が上手くいって、何が上手くいっていないのかとか、どの程度進捗しているのかとか、全然分からないので、これは注文になるのかもしれませんが、今後、ご説明に対しては、そういうものが分かるようにしていただきたいと思います。

あと、次は質問になるかと思いますが、何年か前に、確か女性消防官のための設備が足りていない部分があって、そういう充足を図っていくというような項目があったと思うのですが、未だにそういう女性消防官のための施設というのは不足していると、21年2月の定例会でも確認していたと思いますが、この辺りを令和5年度は、どう取り組んでいくのか、この点は質問として伺います。

今井消防総務課長

はい、消防総務課長です。

女性職員の施設に関して、お答えいたします。

現在、当直可能な施設11施設中7施設で30名の女性職員が当直可能というような形になっております。

課題としましては、今後、女性消防職員を採用するに当たり、全消防施設で当直可能な施設を用意していく必要があります。

現在の建物に関しては、改修をかけても面積的にそういったものが作れないような規模でもございますので、施設の建て替え等に合わせて、女性が当直できるような環境を作りたいと思います。

以上でございます。

越川委員

ご答弁は理解しました。それはそれで必要な施策であって、今年度そういう建物の改修がないから、今年度は取り組まないが、これだけの課題が残っていると認識しているみたいなのところがある。そうしたら、例えば何処どこ消防署を建て替えますという話が来た時に、この施策をやるために必要だとか、理解はすると思います。それが何処かの施策に入るのか、1個の施策として表に出すのか、その整理の仕方はお任せしますが、消防が今どんな課題があって、今年度何を取り組もうとしているのか、またその取り組みが弱いと思えばもっと予算が必要なんじゃないかとか、我々も理解できますし、進



越川委員

んでいないものがあればそれを指摘することもできるので、そのようにしていただけたらと思います。

あと消防操法大会のことで、自分の理解不足があるかもしれませんが、あのような技術を競う大会で、そこに例えば女性消防官なり、消防団員が加わって、例えばタイムとかが落ちてしまうと、優勝出来るものが出来なくなってしまうとか、何か操法大会に女性消防団員が関わられる余地があるのか、もう男性と同等にみなされるとなると、体力差がそのまま勝敗に結びつくのか、もしそうであるならば、何か女性の大会とか無いのかなとか、今後女性の種目みたいなのが無いと、ああいう大会があって、これからみんなが操法大会に力を入れようと言っても、男の人ばかり盛り上がって、女性消防団員が、何か取り残されたりしないのかなと、ちょっと気になったのですが、その点何かご説明いただけますでしょうか。

角警防課長

議長、警防課長です。

ただいまの女性消防団員の操法大会の参加について、ご説明申し上げます。

全国の消防操法大会は、隔年で行われております。男性と女性とで、隔年で大会を実施しております。男性の中に交じって、女性消防団員が大会に参加しているということは、聞いたことはありませんが、それが可能かどうかは、確認しないと分かりません。いずれにしましても、女性消防団員のみでの大会が、開催されております。

以上でございます。

越川委員

この間、安達消防団長からも、全国の消防団員が減っているということで、市川の分団でも、もしかしたら団員数不足みたいになって、女性消防団員も操法大会に出られるのに、そういうことを市川消防が把握してないがために、出られるものが出られないとかあったら、もったいないことだと思うので、その点確認されて、各分団に周知もしていただいて、もちろん上位の成績を目指すというのは、一つのやり方かもしれないですし、団員みんなが色々な形で参加できるようにするというのも一つの形だと思うので、そういう分団ごとの活動に合った選択ができるような、サポートをお願いします。以上です。

上條議長

はい、その他にご質問ございましたらお願いしたいと思います。

加藤（武）委員

はい、よろしくお願いします。

1 ページ目の消防指令業務共同運用の推進ですが、このところに、平成25年4月から6消防本部で運用を開始したとのことですが、その中には、船橋市が入って無いですよね。さらに、そこに4市を加えて、10市になったということですが、そこで、6市から10市になったことで、どういった効果が得られたのか、その効果についてまず教えていただきたい。もう1点は、その中に、船橋市がなぜ入らないのか教えてください。

宮澤指令課長

はい、議長。指令課長です。

ただいまの加藤委員のご質問にお答えします。

まず、6市から10市に変わっての効果ですが、119番通報の受け取りについて、より多くの市民の皆様からの通報に対応することが出来るようになりました。

また、消防力や、災害事案を一括管理出来るため、より広域的、かつ組織的に対応を組めるようになったこと、さらに、お互いの市の災害を確認し合い、近隣の応援体制についても、速やかに対応できるようになったことがあげられます。

その他、指令業務を単独で行っていたものから、6市へ、さらに10市へと変わり、指令システムの設備についても、共同運用することにより経費の削減につながっています。

次に、船橋市が参加を見送ったことについてですが、理由といたしまして、まず、当初は、令和3年2月に船橋市も参加するという予定でしたが、その前に船橋市の指令業務にドクターカーシステムを立ち上げたという経緯がありまして、船橋市と医師会と協議を重ねた結果、地域により密着しているドクターカーシステムは、単独で運用することが望ましいという結果に至ったため、参加を見送っているということで把握しております。

以上でございます。

加藤（武）委員

船橋市の件に触れたいのですが、当初、令和3年の10市への移行時には船橋市も一緒にということで声をかけていた。でも船橋市はドクターカーがあるから、自分たちだけでやっていくという解釈でいいですか。

逆に言うと、船橋市だけで相当な人口がいますよね。私も市川市側からすると、船橋市は真横になるんです。ですから、なおさら私たちは、共同体制を組んだ方が、メリットがあるのかなと思ったのですが、船橋市側から今の形だと応じられないということで理解してよろしいですかね。

宮澤指令課長

はい、議長指令課長です。

私たちも他市のことですので、全てを把握している訳ではございません。私たちは、令和3年の時には、当然11市で船橋市にも入っていただけるものと、解釈をしていましたが、今現在、何らかの原因により、まだそこまで至っていないような状況となっております。

以上でございます。

加藤（武）委員

ありがとうございました。

極力広域化することは、素晴らしいことだと思っています。ですから、少しでも構成市が増えた方がいいと思うので、逆に隣の船橋さんがそこに同意できないということであると、昔、東京と千葉で、ホースのジョイントが違って応援体制に影響がありましたよね。できれば、本当は周辺のところは全部統一した方がいいと思うので、出来るだけこの共同運用に関しては、少しでも努力して集めていただきたい。このことをお願いします。

上條議長

ありがとうございました。

他にご質問ございましたら、よろしくお願いいいたします。

それでは、特にならぬようでございますので、次に、報告に移ります。

「報告1 令和4年消防出動状況について」、事務局からご説明をお願いいたします。

井出消防局次長

はい、議長。消防局次長の井出です。

私からは、「報告1 令和4年消防出動状況について」、ご説明いたします。

井出消防局次長

資料の4ページをお願いいたします。

はじめに、諸出動状況ですが、火災は72件で、前年より2件増加いたしました。平成28年から7年連続で100件を下回っております。

次に、その他出動は、909件で、前年より7件の減少となりました。

次に、PA連携(救急隊の支援活動)が、3,465件で、前年より708件の増加となりました。

次に、風水害が1件、応援火災が25件、救助出動が481件となっており、救急出動は、2万7,114件で、前年より4,149件の増加となり、過去最高件数を更新しました。

次に、火災の発生状況でございますが、建物火災が50件、車両火災が7件、枯れ草等が燃えるその他火災が15件となっております。

また、現在調査中のものもございますが、令和5年1月10日時点の数値としまして、焼損棟数は60棟、焼損床面積は892平方メートル、損害額は1億2,750万1千円となっております。

次に、火災により亡くなられた方は4名、負傷された方は24名となっております。

次に、火災原因別状況でございます。

原因で最も多かったのは、電気配線・器具で13件、次いで、たばこで12件、次いで、こんろの9件となっております。

次に、資料の5ページをお願いいたします。

救急出動状況ですが、種別で多かった上位3つは、急病の1万8,076件、次いで一般負傷の4,029件、次いで交通事故の1,353件となっております。

次に、消防相談出動状況でございます。

これは、市の「まちの相談直行便」で行う業務が含まれておりますが、夜間休日等は消防が実施しており、4署の合計で359件となっております。

以上でございます。

上條議長

はい、ありがとうございました。

ただいま事務局からご説明がございましたが、この件につきまして、ご質問ございましたらよろしくをお願いいたします。

やなぎ委員

2点ほど、1点目は、出動状況の中で、救急件数が過去最高で増えているということですが、コロナウイルスとの関係性については、どうなのかをお願いします。2点目は、消防相談の出動状況について、動物の捕獲についてですが、今、市街地に野生動物が出るというようなこともあったりして、私も何回か経験したりしたこともあるんですけども、その辺の内容と状況について、お話していただければと思います。例えば空き家との関係なども分かったら、お聞きしたいと思います。

以上です。

秋山救急課長

はい、救急課長です。

救急出動の増加に関してですが、昨年の救急出動件数は、2万7,114件、前年より4,149件増加しております。

年間の増加率といたしましては、18%増加をしております。これは、令和4年は、新型コロナウイルス感染症の第6波、第7波、そして第8波ということで、年間を通して感染拡大を繰り返したしたこともありまして、新型コロナウイルス感染症の増加による影響が考えられます。

また、昨年は例年になく、暑い日が続きました。熱中症等による救急搬送も増えていることが、要因と思われます。

新型コロナの搬送数に関しましては、新型コロナウイルス感染症の救急要請ということで、1,716件、他に、発熱等のコロナ疑いの要請がありまして、これが3,214件ありましたので、合計いたしますと、4,930件ほど、新型コロナに関連するような出動が増えています。

以上でございます。

角警防課長

議長、警防課長です。

消防相談の動物の捕獲についてのご説明をさせていただきます。

犬、猫、その他にはハクビシン、狸といった動物が出たときに、消防相談で処理をしています。

やなぎ委員

ご答弁ありがとうございます。

ハクビシンの関係で、例えば空き家に柿の木があったりすると、ハクビシンが出たということで、私も相談を受けたこ



上條議長 いたします。

加藤（武）委員 写真のお二人、どちらが「複合検索」で、どちらが「基本泳法」の方ですか。教えていただきたいです。

角警防課長 議長、警防課長です。  
資料の写真ですが、右側が「複合検索」の小林消防士で、左側が「基本泳法」の篠原消防士となります。

加藤（武）委員 わかりました。  
ありがとうございます。

上條議長 はい、よろしいでしょうか。  
他にご質問は、ありますか。  
それではないようでございますので、次に移らせていただきます。  
「報告3 第29回全国消防操法大会の結果について」、事務局からご説明をお願いいたします。

角警防課長 はい、議長。警防課長です。

上條議長 はい、どうぞ。

角警防課長 「報告3 第29回全国消防操法大会の結果について」、ご説明させていただきます。  
資料7ページをお願いいたします。  
消防操法は、消防団員が火災活動に使用する、ポンプ自動車や小型ポンプからホースを延長し、火点となる的を目掛けて放水し、的を倒すまでの一連の動作を競うものであります。  
審査にあつては、審査要綱に基づき、迅速確実な動作やチームワーク、士気に至るまで、「団体総合」と、「個人」で評価され、順位が決定されます。  
全国消防操法大会は、29回の歴史を数えますが、千葉県では初の開催でもあり、また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3年ぶりに開催されました。  
本市消防団からは、ポンプ車の部に、八幡、南八幡地区を管轄する第6分団が、7月に開催されました、千葉県消防操法大会において最優秀賞を受賞したことから、千葉県代表と

角警防課長

して出場いたしました。

結果につきましては、出場21チーム中、2番目の高得点で準優勝を勝ち取り、千葉県では22年ぶりの快挙となりました。

また、個人の部でも、2番員の団員が、優秀選手員を受賞する等、輝かしい成績を収めました。

以上でございます。

上條議長

はい、ありがとうございました。

この件につきまして、ご質問ございましたら、よろしくお願いいいたします。

特にご質問ありませんか。

はい、それでは、以上で報告を終わります。

次に、その他といたしまして、「消防局における今後の主な行事予定について」、事務局から説明をお願いいたします。

今井消防総務課長

はい、議長。消防総務課長です。

上條議長

はい、よろしくお願ひします。

今井消防総務課長

消防局における今後の主な行事予定についてご説明させていただきます。

会議資料9ページをご覧ください。

消防局における今後の主な行事予定につきましては、記載の通りとなっております。

なお、次回の消防委員会開催までの行事予定を記載させていただきます。

以上でございます。

上條議長

はい。この件に関しまして、ご質問ございましたら、よろしくお願ひいたします。

特にご質問がないようでございます。

それでは、その他、質問等はございませんでしょうか。

加藤（武）委員

ひとついいですか。

上條議長

はい、どうぞ。



加藤（武）委員

はい。

実は私、消防委員を20年やっていますが、今までは消防委員は、出初式でも何でもそうですが、消防委員の席がありましたよね。いつからかわからないですが、全く消防委員の席がなくなって、同一で42名の議員が並んでいます。本来であれば消防委員会の委員というのは、やはり別格であるべきだと私は思っています。

消防局にお願いですが、消防委員5人の席はまとめていただきたい。

第6分団の祝賀会の時もそうでしたが、越川委員も同じことを思っていたと思うのですが、消防委員の席があると思っていたんです。消防委員は、名称だけであって、全く対処して頂いていないのかなと思うので、これからでいいですが、次の行事から消防委員会の席は作っていただきたい。このことをお願いしたい。要望で結構です。

上條議長

只今、加藤委員の方からご要望ということでお話がありましたが、今後ご検討いただければと思います。

よろしく願いいたします。

はい、それではその他にご質問等がないようでございますので、本日の議事はすべて終了とさせていただきます。

円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

長谷川主幹（司会）

お忙しいところ、委員会への出席、また、ご審議くださりまして、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度第2回市川市消防委員会を閉会いたします。

（消防総務課長） 消防職員起立・敬礼・直れ・着席

令和5年3月2日

消防委員長

上條憲司